



第49号

発行所

三苦校区人権尊重推進協議会

事務局

三苦公民館

TEL 606-4511

社会福祉法人 福岡コロニー

令和6年度

三苦校区人権尊重推進協議会研修会・総会

「お互いを尊重する共生社会」

会長挨拶



会長 佐竹 清隆

「基本的人権が尊重された、差別のない明るい街づくり」

三苦校区の皆様にはますます清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、三苦校区人権尊重推進協議会の活動に格段のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。去る5月11日に開催されました校区人尊協の総会において、二宮文夫前会長の後任として、会長の大役を仰せつかりました佐竹でございます。

歴代会長の当協議会の活動に対する熱い意志を引き継ぎ、当協議会の趣旨であります「基本的人権が尊重された、差別のない明るい街づくり」の実現に向けた取り組みに力を注いでまいりる所存でございますので、今後ともご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨今においても人権差別やハラスメントが起こっているのが現状です。人権教育及び人権啓発の推進に

関する法律には「国民は、人権尊重の精神の涵養に努めるとともに、人権が尊重される社会の実現に寄与するように努めなければならない」とあります。法律とは理想(目的)を達成するための手段・方法というように思います。

人権が尊重される社会を実現させるために、人権に関する知識や実践力・行動力を一人一人が体得することが、素晴らしい社会の実現につながることは言うまでもありません。

「差別は人の心の中に生まれるもの」であるから人の心の中を念頭に置き、当協議会の発展に邁進する所存でございますので皆様には引き続き当協議会の活動に、ご理解とご協力を頂きます様お願い申し上げます。

「人権は難しい!!特に私には」

1、総会

令和6年5月11日(土)「三苦校区人権尊重推進協議会研修会・総会」が開催されました。

総会では、令和6年度事業報告・収支決算報告、令和6年度役員、事業計画並びに収支予算が承認されました。

なお、新会長には、前自治協議会会長の佐竹清隆氏が選出されました。

2、本年度の主な事業 研修部

- ・人権研修会「お互いを尊重する共生社会」(5月11日)
- ・多文化交流会「台湾」(7月7日)
- ・映画「アオギリにたくして」(2月8日)

啓発部

- ・標語、ポスターの募集(小中学校)
- ・人権標語入りカレンダーの作成他

広報部

- ・人尊協だより「もやい」第49号(10月)、第50号(3月)の発行

3、研修会



東区生涯学習推進課 竹下 和男氏

総会に先立ち、東区生涯学習推進課の竹下和男氏による「お互いを尊重する共生社会」と題して人権研修会が行われました。

研修会では、先ずDVDを視聴後、グループ討議、最後に竹下氏がまとめるという形で行われました。

DVD「風の匂い」の内容

知的障がいがある主人公A君が、スーパリーに就職。主な仕事は、開

店前の掃除・陳列棚の整理等、最初に店長から「心を込めて」仕事をしよう教えられる。A君は彼なりにそれを守ろうと努力するが、度々トラブルに、そして解雇されそうになる。その時の母親の言葉は「知能面では遅れていても心はあるんです。プライドだってあるんです。」

そしてA君は、上司W氏に「心を込めて店を綺麗にすると皆が喜ぶので、仕事を続けたい」と訴える。ところが、店長は「彼に仕事をさせるには、いろんな壁がある」と難色を示す。それに対しW氏は「その壁を作っているのは、我々の方では?」と。結局A君は職場復帰。その後、店はA君の客が喜ぶ姿を思っている意見を取り入れて店内を再アレンジした結果、客からも喜ばれることに。

最後に、店長の一言「これまで店の利益のことばかり考え、お客様の顔を見てなかった...」。

その後、3〜4人に分かれグループ討議。最後に、竹下氏により「障がい者」に関する法的・制度的な説明があったが、前記DVDはそれらを全て守っても、起こりうる例であろう。(I)



研修会の様子

「学校と家庭と地域で育てる」



三苦小学校 教頭 宮本 正史氏

三苦小学校では、子ども達がしっかりと学び、生き生きと成長できるように、先生方が保護者の皆様のご協力のもと、地域の方々の温かな見守りのもとに、様々な教育活動を行っております。

学校では、様々な場面で友達の良さや頑張りや気付き、互いに切磋琢磨しながら成長していきけるような活動に取り組んでおります。また、三苦小学校の子ども達は、ご家庭や地域の方々の愛情に育まれながら、とても素直で、とても

「自律タイム」の取り組みについて



和自中学校 教頭 東方 広海氏

近年、ダイバーシティ(Diversity 多様性)実現のために、中学校では人権教育の重要性がますます強調されています。当校でも、生徒一人ひとりが他者の権利を尊重し、共に生きる社会を築くための取り組みを積極的に進めています。その具体的な活動の一つとして「自律タイム」があります。今回は「自律タイム」についてご紹介いたします。

まず、「自律タイム」の目的は、生徒自らがよい集団をつくるために、なりたい姿を自分たちで考え、どうやってその姿を達成するのかを自分たちで考えることです。例

元気で生き生きとしていて、子どもらしく素敵だと感じております。しかしながら、そんな子ども達も時には、自分の思うようにいかず、様々なことで悩むこともあるかもしれません。そんな時こそ、学校と家庭と地域の方々がしっかりと連絡を取り合い、子ども達のために協力していくことが大切になると思います。

どんなに些細なことでもお互いに気になることがあれば、ためらうことなく連絡し、お互いに話していくことで、しっかりと連携が深まると思います。今後子ども達により良い方向に進んでいけるようにしたいと思います。

子ども達の学びや成長に、本校の先生方と保護者と地域の方々と共に関わられることを喜びとして、頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしく申し上げます。

例えば、5月13日(月)の「自律タイム」では、体育大会に向けた学級づくりについて取り組みました。「自律タイム」に先立ち、事前に班長会で学級委員や班長が集まってクラスの現状と課題について意見を出し合い、「自律タイム」の進め方について話し合いました。「自律タイム」の内容は、体育大会に向けた学級スローガンを作成するクラスがあったり、体育大会の個人の目標を書いて掲示するクラスがあったりするなど様々な取り組みが見られました。

このような学習におけるディスカッションやグループワークを通して、生徒たちが自分の意見を表現し、他者の意見に耳を傾ける力を養うとともに、他者と協働してよりよい社会を構築する力を育むことを目指しています。さらに、このような経験は、いじめや差別等の人権問題について深く考え、人権を尊重する行動につながることを考えています。

三苦小学校

五年

わすれない
とてもうれしい
あの言葉
植田 晴陽

みとめ合おう
みんなの個性は
たからもの
石橋 美咲

ふわふわ言葉
みんなが笑う
えがおの虹
修行 礼寿

だめなのか?
ピンクが好き
このぼくは
山口 結愛

世の中は
後先考え
行動だ
武井 湊音

歩み出す
勇気を出して
その次へ
重富 柚蘭

一年

大事にね
親が作った
この命
宮崎 武人

なくそうよ
見た目で人を
決めること
吉浦 健太

男はずぼん
女はスカート
そんなきまりはもうおわり
中村 裕太

これにしろ
流され決められ
きずがつく
金堀 雄仁

人権標語

気付いてる?
心の中の
SOS
小柳 拓未

分かつてる
SNSの
おそろしさ
堺 日南海

大丈夫
勇気を出して
言ってみて
前田 朱里

みんなが待つてる
まほうの言葉
ありがとう
西出陽向子

捨てないで
私達だけの
すてきな個性
江崎結里菜

見つけよう
まわりの人の
いいところ
林田 紗奈

悲しいよ
仲間はずしは
いじめだよ
湯浅心二郎

かんがえて
せつしてみよう
だれにでも
信田 龍也

本当に
大丈夫か
その言葉
田中 佑芽

多様性
みんなちがうよ
くらべずに
木下 藍輝

50号のお知らせ

三苦人尊協だより「もやい」をお読みいただきまして、誠にありがとうございます。50号になります。これを記念してカラー版回覧をご覧ください。今後は、もつと皆様に「親しみやすい・読みやすい・役に立つ」を目指し制作してまいりますので、どうぞご期待ください。なお、三苦校区自治協ホームページ「住みよいまち三苦」にも、情報を掲載しております。

今後の企画

「三苦の元氣印」は、高齢者だけでなく子どもにもスポットを当ててまいります。クロスワード等で、言葉遊びしながら知識確認と頭の体操をしましょう。

人尊協ロゴマークの募集をします。

三苦校区の人尊協ロゴマークを、皆様から左記により募集いたします。奮ってご応募ください。

記

- ・テーマ…三苦校区の人権尊重の精神と啓発を図るための親しみやすいロゴ
- ・締切り期日…2024年12月21日(土)
- ・公募資格…三苦校区にお住まいの方。(子ども・グループも可)
- ・必須事項…氏名、住所、連絡先、デザインのコンセプト、年齢
- ・条件…大きさは、10cm x 10cm 枠内
- ・形式…紙ベースまたは、JPEGまたはGIF形式(画像サイズは2MB以内)
- ・提出先…三苦公民館
- ・備考…採用作品は、もやい50号で発表、賞品有り

令和6年度 人権尊重推進協議会名簿

会長	佐竹 清隆	福永 栄	〇中西 輝雄
副会長	高橋 壽一	下川 京子	堺 正英
事務局長	堺 雅子	堺 眞利子	田澤 義彦
濱野 政人	松岡 信明	成富 学	柳 孝章
天野 浩久	松本 修芳	香野 芳彰	江口 靖晴
藤田 覺三	高木 伸剛	高木 伸剛	浦 良子
山下 智子	三久保哲夫	〇岩重 二郎	〇志谷 初子
深野 雅子	出永 実	〇田澤 和子	〇緒方 初子
研修部	川口 里美	山下 智子	〇志谷 浩子
〇永吉 勝	渡 恒一郎	内藤 照代	剣持 照代
			堺 和広
			山崎 友寛
			山本 憲明
			堺 知行
			井上 満春
			〇部長
			〇副部長
			濱田 茂子
			渡邊航一郎
			山本 恵美
			飯田 信義
			田口 三義
			後藤 芳孝
			藤野 想督
			酒瀬川秀穂
			副田 幸治
			二宮 文夫
			堺 徳昭
			飯田 信義
			田口 三義
			後藤 芳孝
			藤野 想督
			酒瀬川秀穂
			副田 幸治
			二宮 文夫

多文化交流会(台湾)

りやすくまとめられており、公民館に保管してあります。次に、台湾の屋台文化の紹介があり、聞いているうちに、出かけて台湾の味を満喫したくなりました。そして後半は朝元夫人の指導の下、台湾餃子づくりです。開会前に一部の参加者により下準備が整えられていて、私たちは、皮を伸ばして包むだけ、ほんとおいしいところだけをいただきました。皆さん和気あいあいとお話し、おいしいの連発です。奥様はともにお会いしておおらかなお人柄、道でお会いしても楽しくお声掛けできそうで嬉しくなりました。公民館での交流会、皆さん大いに



朝元 照雄 氏

去る7月7日(日)、多文化交流会が行われました。講師の朝元ご夫妻は、三苦3丁目にお住まいです。私は、身近に台湾の方がいらつしゃるとは全く知らずにいましたから、とても興味を湧いて参加しました。先ずは朝元照雄氏の講演から。「台湾で最も尊敬された日本人・八田與一」、日台間の架橋となった方のお話です。

今から百年前、八田技師の専門知識と勇気ある心により、烏山頭ダムが建造され、この水が台湾の農業、工業の発展をもたらしましたが、日本では八田技師の業績はあまり知られていません。ところが、あの東日本大震災や本年1月の能登半島地震に際しては、台湾から多額の義援金が寄せられました。この「日台の絆」も八田技師の台湾への貢献が源であり、「善の循環」をもたらした基礎であると、講演を結ばれました。この講演の資料は、物語風に分か



食事中



研修会の様子

編集後記

三苦人尊協機関紙は、次回で50号を迎えます。その創刊は1999年、正に「戦争の世紀」と言われた20世紀が終わろうとしていた時でした。しかしながら、「平和の世紀」と期待された21世紀になって24年、今でも戦争・紛争が絶えません。そんな中、本号では日本台湾間の心温まる友好の歴史が紹介されました。人権と言っても、この様な国と国、人と人との温かな心の触れ合いから始まるのではないのでしょうか。(広報部一同)